

第3回 北見市地方創生総合戦略策定委員会 議事要旨

- 1 日時 令和2年1月7日(火)午後2時～午後3時
- 2 場所 北見市役所北2条仮庁舎 3階 庁議室
- 3 出席者
 - (1) 委員 8名中7名出席
 - 中村 研二 委員長 (学・教育機関)
 - 小原 光一 副委員長 (産・産業界)
 - 中嶋 健一 委員 (官・関係行政機関)
 - 武田 研二 委員 (労・労働団体)
 - 藤田 慎也 委員 (言・メディア)
 - 西田 篤史 委員 (士・士業)
 - 住佐 春佳 委員 (公募市民)
 - (2) オブザーバー
 - 橋爪 一樹 北海道オホーツク総合振興局地域創生部地域政策課長
 - (3) 事務局
 - 船戸 清司 北見市企画財政部長
 - 伊集院健介 北見市企画財政部次長
 - 工藤 祥久 北見市企画財政部企画政策課長
 - 吉次 直人 北見市企画財政部企画政策課政策係長
- 4 議事
 - (1) 開会
 - (2) 議題
 - 第2期北見市地方創生総合戦略(案)について
 - (3) その他
 - (4) 閉会
- 5 会議の公開・非公開の別 公開
- 6 傍聴者 なし
- 7 議事内容の要旨
 - (1) 開会(午後2時)
 - 略
 - (2) 議題
 - 第2期北見市地方創生総合戦略(案)について
 - 事務局から配布資料に基づき説明

主な意見と事務局説明

(小原副委員長)

- ・今回、主な事業が加わったことで、総合戦略案としていい形となったのではないかと。何か新しいことをつくり出すということも必要だが、地道な課題の解消も重要であり、課題を解消することで、住んでもらえるまちに変わっていくのではないかと思う。これから5年間、個別事業を推進し、KPI を達成することは大変だと思うが、市には尽力いただきたい。

(中嶋委員)

- ・すばらしいものができていると思う。管内の高校生が減り、求職者も減少しているため、高校卒業後に地元で就職し、住んでもらえるよう、総合戦略が実行されることで、魅力のあるまちになってくれれば良いと思う。

(武田委員)

- ・日本労働組合総連合会で掲げている、「働くことを軸とする安心社会」というキャッチフレーズを意識して就労、働くこと、またそれに対するサポートなどを中心に質問や意見をさせていただいた。生まれ育った北見市が元気なまちとなるよう期待している。

(藤田委員)

- ・一次、二次医療の問題や公共交通の問題など地域の活性化に向けた懸念はあるが、基本的に総合戦略として網羅していると思う。総合戦略どおりに施策を実施すれば、間違いのないと感じるので、賛同していきたい。

(西田委員)

- ・この委員会に参加することで勉強になった。藤田委員からお話があったとおり、人口減少が進む中で掲げた基本目標を維持することも大変だと思う。これから施策を実行することが一番大変なことだと考えられるので、目標を達成できるようご健闘いただきたい。

(住佐委員)

- ・一市民として、各委員の意見が大変勉強になった。武田委員から女性や高齢者、誰でも働ける社会という言葉があったが、北見市で推進しているテレワークを移住定住だけでなく子育てや介護で働ける時間や場所が限られる方たちも活用できるよう、推進していけば、企業と働き手のミスマッチ解消に結びつくのではないかと感じる。

(中村委員長)

- ・各委員から意見をいただいたが、まさに実務者と生活者が集まって、各現場からの直接的な意見を踏まえた総合戦略案となったと思う。私も、いろいろな地方公共団体のまち・ひと・しごと総合戦略を見ているが、柔らかい言葉でわかりやすく、非常に良い総合戦

略案となったのではないか。ただ、各委員からの意見のとおり、実践できるのかという問題があり、人口減少に対応して成果を出すのは難しいと思うが、市には頑張っていたきたい。

(事務局)

・委員会で策定した総合戦略案と、各委員からのこれまでの意見を含め、市でも国や道の総合戦略との整合性を図りながら、さらに検討を深め、最終的に策定してまいりたい。

(7) その他

本日答申いただく第2期北見市地方創生総合戦略(案)について、市議会に報告後、パブリックコメントを実施し、パブリックコメント期間中に地方創生に関するシンポジウムを開催する予定

(8) 閉会(午後3時)